

アントレプレナーシップ入門

—CASE の補足資料—

第 12 章 お金の流れを管理しよう

CASE ● インクス: 過度の先行投資と需要の激減で民事再生

1 インクスについて

第 12 章のケースで株式会社インクスを取り上げたのは、イノベーションを伴う製品・サービスを生み出し、日本を代表するベンチャー企業として多くの表彰を受けていた会社でありながら民事再生に至った企業を取り上げ、キャッシュフローの本質を失敗事例から学ぶためである。成功事例より失敗事例から学ぶことの方が多いと考えたからである。

残念ながら現在のインクスの状況を把握することはできない。下記の会社は株式会社インクスの経営資源を引き継いでいますが、新しい会社であり、別会社と考えた方がいいだろう。

株式会社インクスは 2009 年に民事再生を申請し、外資系コンサルティング会社出身の古河建規氏が 2000 年に社長になり新しく出発した。その後、2013 年 4 月に株式会社インクスが SOLIZE、株式会社インクスエンジニアリングサービスが SOLIZAE Engoneering と社名変更して事業を進展させている。グループを形成し、中国（上海）やインドにも子会社を作り進出している。

SOLIZE 会社概要

<https://www.solize-group.com/groupinfo/index.html>

古河建規氏など幹部の略歴

<https://www.solize-group.com/groupinfo/officers.html>

2 日経ビジネス 「敗軍の将，兵を語る」

週刊『日経ビジネス』誌に「敗軍の将，兵を語る」というレギュラーコラムがある。問題を起こした，あるいは会社が破綻した企業の経営者が，なぜ失敗したかを語っている。

失敗に至る原因は第12章で取り上げたキャッシュフローの問題だけでなく，環境変化への対応の遅れや経営判断の遅れ，社員管理，指導の不徹底など，多種多様である。ベンチャー企業ばかりではないが，非常に勉強になるのでぜひ，読んでみてほしい。

3 日経トップリーダー「破綻の真相」

月刊『日経トップリーダー』にも話題の中小企業の破綻についての連載コラムがある（破綻の真相）。業種も地域もいろいろだが，『日経ビジネス』「敗軍の将，兵を語る」よりも小さな企業の破綻事例を取り上げており，ベンチャー企業を目指す学生には身近かもしれない。

※著作権は著者に帰属します。

※私的使用および，大学等の講義・ゼミ等の教育目的に限って使用できます。